

4日目 7月18日

会 場: 県立浜山球場

第1試合		～2回戦～ (7回コールド)																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
松江高専		0	0	0	0	0	1	0									1	3	2
安 来		3	1	0	0	0	2	2X									8	15	1
(投手-捕手)																			
・ (松)		岩元→山下→脇田 - 桑原																	
・ (安)		吉田慎 - 原田																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (松)		井上																	
・ (安)		藤原駿、原田、野口																	
(審判) [球審]		門崎			〔一塁〕 佐々井				〔二塁〕 波多				〔三塁〕 上手						
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(松)	24	3	0	1	0	0	10	3	1	1	6	0		2	2	0	1	0	
(安)	33	15	7	3	0	0	4	1	1	1	7	1		1	0	0	0	0	
「危なげない試合運びで安来が3回戦へ」																			
<p>終始、安来が主導権を握る試合運びで松江高専を7回コールドで下した。</p> <p>安来は1回裏に先頭が振り逃げで出塁するも牽制死と流れが相手に行きそうな場面から、連打でチャンスを作ると、5番岩田伊吹のセンターへの適時打で先制点を奪う。続く藤原駿も左越2塁打を放ち、相手レフトがクッションボールの処理をもたつく間に1塁走者も得点し、3点のリードを奪った。更に続く2回裏にも安打と犠打で1死2塁のチャンスをつくり、1番原田の左中間を破る適時2塁打で1点を追加した。</p> <p>その後は膠着状態が続いたが、6回表に松江高専が2個の四死球と犠打で1死1・2塁とし、相手遊撃手の失策の間に1点を返した。しかし、6回裏安来は3連打で1点を追加すると、1番原田のレフトへの適時打が飛び出し6対1とリードを広げた。勢いそのままに7回裏にも2番野口の左中間への2塁打を皮切りに相手失策などもあり、最後は8番吉田慎のセンターへの適時打で7回7点差をつけコールドで3回戦進出を決めた。</p>																			

